



平成最後を飾る 30 年 10 月 21 日、抜けるような青空の下、第 16 回きらめき市民大学学園祭が開かれた。スローガンは「共に喜び分かち合う きらめき市民大学」である。塩入委員長は多数のご来場者への感謝を表し開会宣言を行った。



塩入肇実行委員長 開会宣言



森田光一学長 挨拶

学長森田光一東松山市長は挨拶で、全国的に高齢化対策が問題となるなか、わが東松山市には永遠の青春を友人を作りながら元気に生きて行く場 きらめき市民大学があることを述べ、続いて森田公一とトップギャランの「青春時代」を歌い、満場大喝采であった。

◆ アトラクション



16 期 暮らしと健康学部：「ハッピー体操:365 歩のマーチ(替え歌) きよしのズンドコ節」

皆ハッピー体操で身体の調子も良くなり、皆ハッピーな笑顔になりました。これからも元気で長生きを目指そう！



16期 国際・文化学部：「冬実のそうらん節 チャラチャン音頭」
 フリが多く覚えるのに一苦労、初めのバラバラが直前には統一感も。客席の「揃っているネ」の一言が嬉しい！！



16期 歴史・郷土学部：「ダンシングヒーロー よさこいソーラン」
 **手作りの紅い長半纏と紅い鉢巻きで衣装は万全！ 夏休みの全体練習と自宅自主練習で臨んだ本番！
 元気一杯！踊りました。



17期 くらしと健康学部：「サザエさん 恋の季節」
 「サザエさん」のお面や「恋の季節」のベストなど手作りし、朝も練習して本番に臨みました。



17期 国際・文化学部：「武田節 青い山脈」
 いざ出陣ということで武田節の踊りに挑戦しました。練習ではあまりスッキリしませんでした。本番では最高の出来映えでした。これも女性軍のリーダーシップが、うまく発揮され、最後にはクラス全員が一本にまとまることができました。



17期 歴史・郷土学部 : 「里の秋・ぼたん音頭」ハワイアンバンドの生演奏でぼたん音頭を踊りました。面白い組合せですね!



森田光一学長サプライズ出演 まっくん&あゆみんと森田公一の青春時代を歌う。

客席を回るあゆみん、後にまっくん



少年少女合唱団「ピアーチェ」 : 歌声もすばらしく、キラキラ光る目がとても印象的でした。

「きらめき音楽のつどい」音楽クラブ“ひばり” : 学園祭では、全員頑張って練習の成果が出たと思います。私たちは金曜日に楽しく唄っています! ♪♪♪



ナレオメプア : 9月30日に市民文化センターにて第10回定期演奏会を開きました。きらめきの仲間が大勢来てくださり賑やかに盛大にできました。大変有難うございました。

軽音楽バンド : なつかしの青春のメロディーに、会場は手をつなぎ共に歌う人、踊る人で一体となりました。



吟剣部同好会 : 詩吟を愛しそれに合わせて剣舞とのコラボを楽しんでいます。近頃は歌謡曲と詩吟を組合せ、歌謡吟詠も試んでいます。



白坂太鼓 : 昭和54年子供らのために結成したという伝統のチーム。洗練された太鼓には圧倒する響きがありました。

◆ 催し物コーナー



作品展示 : 力作ぞろいであった



学園紹介 : 注目の新企画! 「メッセージツリー」と「あのことろ輝いていた私?」



チャリティーバザー : 掘出し物は?



喫茶室 : 日常からの脱却! いつもの教室が変身!



模擬店 : 大繁盛! 大繁忙!

◆ 閉会式



午後3時、鹿熊副委員長の閉会の辞があった。来場者数328名という大成功をもたらした16期生の今年1月からの準備への感謝と、17期生の入学以来の努力へのねぎらいが述べられ、三本締めで締めくくった。

編集後記

ファインダーを通して覗く少年少女のキラキラ光る眼の輝きと笑顔に驚きました。広報係の撮った写真の中にも男女シニア学生の沢山の笑顔を見つけました。学園祭にきらめき市民大学の「学び」以外の「楽しみ」という側面を発見した次第です。本特集号がご参加・ご来場された皆様の記録と記念、および入学検討の方々へのご参考となれば幸いです。

第16回学園祭実行委員会広報係
平成30年12月